

アンプリット錠 10mg、アンプリット錠 25mg

【この薬は？】

販売名	アンプリット錠 10mg AMPLIT Tablets 10mg	アンプリット錠 25mg AMPLIT Tablets 25mg
一般名	ロフェプラミン塩酸塩 Lofepramine Hydrochloride	
含有量 (1錠中)	10.87mg (ロフェプラミンとして10mg)	27.18mg (ロフェプラミンとして25mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、三環系抗うつ剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・ この薬は、飲みはじめてすぐには抗うつ効果はあらわれないことがあります。飲み続けると、脳内に作用し、脳内の神経伝達を改善し、抑うつ気分を和らげます。
- ・ 次の病気の人に処方されます。

うつ病・うつ状態

- ・ この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると吐き気、頭痛、倦怠感(けんたいかん)などの症状があらわれることがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。医師または薬剤師にその旨を告げてください。

- ・ 閉塞隅角緑内障の人
- ・ 過去に三環系抗うつ剤で過敏症のあった人
- ・ 心筋梗塞の回復初期の人
- ・ モノアミン酸化酵素阻害剤を使用している、あるいは使用を中止してから2週間以内の人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・ 開放隅角緑内障の人
- ・ 尿がでにくい人、眼内圧が高い人
- ・ 心不全・心筋梗塞・狭心症・不整脈などの心臓に障害のある人
- ・ 甲状腺機能亢進（こうしん）症の人
- ・ てんかんなどのけいれん性疾患のある人または過去にこれらの疾患と診断されたことがある人
- ・ 躁（そう）うつ病の人
- ・ 脳に器質的な障害のある人、または統合失調症になる可能性がある人
- ・ 衝動的な行動を起こしやすい病気を合併している人
- ・ 死にたいと強く思ったり考えたことがある人
- ・ 低血圧の人
- ・ 高度の慢性便秘のある人
- ・ 腎臓に重度の障害がある人
- ・ 肝臓に重度の障害がある人
- ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・ 授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬（モノアミン酸化酵素阻害剤{セレギリン塩酸塩 [エフピー]、ラサギリンメシル酸塩 [アジレクト]、サフィナミドメシル酸塩 [エクフィナ] }）や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○24歳以下で抗うつ剤を使用した場合、死んでしまいたいという気持ちを強めるという報告があります。24歳以下でこの薬を使う人は医師と十分に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	アンプリット錠 10mg	アンプリット錠 25mg
1日量	2～3錠から使用を開始しその後、徐々に15錠まで増量されます。	2～3錠から使用を開始しその後、徐々に6錠まで増量されます。
飲む回数	1日2～3回	

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・ 眠気、運動失調などの症状があらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・ うつ病やうつ状態の人は死んでしまいたいと感じることがあります。この薬を飲んでいて、特に飲みはじめや飲む量を変更した時に、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状が悪くなることもあるので、このような症状があらわれた場合は、医師に相談してください。
- ・ 不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができない、などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、医師に相談してください。この薬との関連性は明らかではありませんが、これらの症状があらわれた人の中には、うつ症状などのもとともある病気の症状が悪化する場合や、死んでしまいたいと感じたり、他人に対して危害を加えたりする場合があります。
- ・ ご家族の方は、死にたいという気持ちになる、興奮しやすい、攻撃的になる、ちょっとした刺激で気持ちの変調を来すなどの患者さんの行動の変化やうつ症状などのもとともある病気の症状が悪化する危険性について医師から十分に理解できるまで説明を受け、患者さんの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には、医師に連絡してください。また、患者さんご自身も病状に変化があったと感じた場合には、ご家族の方にも伝えるようにしてください。
- ・ この薬は、急に量を減らしたり、使用を中止した場合に、吐き気、頭痛、倦怠感（けんたいかん）、易刺激性（ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来すこと）、情動不安、睡眠障害などの症状があらわれることがあります。そのため、この薬の使用を中止する場合には、時間をかけて少しずつ量を減らしてゆきます。医師の指示どおりに飲んでください。
- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・ 授乳している人は医師に相談してください。
- ・ アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・ 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいてることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください。重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
Syndrome malin (悪性症候群) シンドロームマリン (あくせいしょうこうぐん)	高熱、汗をかく、ぼーっとする、手足のふるえ、体のこわばり、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、脈が速くなる、呼吸数が増える、血圧が上昇する
抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 (SIADH) こうりにょうホルモンふてきごうぶんびつしょうこうぐん (エスアイエイディーエイチ)	けいれん、意識の低下、意識の消失、吐き気、食欲不振

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	高熱、汗をかく、体のこわばり、けいれん
頭部	ぼーっとする、意識の低下、意識の消失
口や喉	話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、吐き気
胸部	呼吸数が増える
腹部	食欲不振
手・足	手足のふるえ、脈が速くなる
その他	血圧が上昇する

【この薬の形は？】

販売名	アンプリット錠 10mg	アンプリット錠 25mg
PTP シート		
形状	糖衣錠 	糖衣錠 
直径	6.5mm	7.9mm
厚さ	3.8mm	4.8mm
重さ	125mg	226mg
色	白色	白色
識別コード	①103	①104

【この薬に含まれているのは？】

販売名	アンプリット錠 10mg	アンプリット錠 25mg
有効成分	ロフェプラミン塩酸塩	
添加剤	乳糖水和物、カルメロース、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、ステアリン酸マグネシウム、ヒドロキシプロピルセルロース、タルク、精製白糖、沈降炭酸カルシウム、グリセリン脂肪酸エステル、カルナウバロウ	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・ 直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・ 子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・ 絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・ 余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：第一三共株式会社 (<https://www.daiichisankyo.co.jp>)

製品情報センター

電話：0120-693-132

受付時間：9:00～17:30

（土、日、祝日、当社休日を除く）